

法政大学学術機関リポジトリ

HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

〔法政大学国際文化学部＆言語・文化センター共催 企画〕 岩崎鬼剣舞 東北の鎮魂と祈りの舞

著者	岡村 民夫
出版者	法政大学国際文化学部
雑誌名	異文化
巻	14
ページ	6-6
発行年	2013-04
URL	http://hdl.handle.net/10114/7877

[法政大学国際文化学部&言語・文化センター共催企画]

岩崎鬼剣舞—東北の鎮魂と祈りの舞

報告者：岡村民夫

岩崎鬼剣舞（いわさきおにけんばい）は、岩手県北上市岩崎に伝わる民俗舞踊（国指定重要無形文化財）である。2012年2月26日（日）午後、まず解説付きで岩崎鬼剣舞の演舞公演を行ったのち、三宅流（みやけ・ながる）監督がこの舞踊と岩崎の人々の生活を撮影したきドキュメンタリー映画『究竟の地 岩崎鬼剣舞の一年』（2008年）を上映し、最後に監督と岡村でシンポジウムを行った。高度な民俗芸能の魅力に触れるとともに、この芸能がコミュニティに支えられていることや、世代を超えた住民どうしの絆になっていることを学んだ。

東京の映画館で『究竟の地 岩崎鬼剣舞の一年』のロードショーがはじまった直後のイベントになったが、岩崎鬼剣舞の実演を加え、また商業上映版と異なるロングバージョンを上映することで差異化をはかり、すでに映画館で観た人の来場があった。ただし、薩埵ホール舞台が上映やダンスの公演にあまり適していないという問題点も感じられた。



法政大学言語・文化センター&国際文化学部共催企画「文化／イメージ」シリーズ
いわさきおにけんばい
「岩崎鬼剣舞—東北の鎮魂と祈りの舞」

日時：2012年2月26日(日)
会場：法政大学 市ヶ谷キャンパス内 外濠校舎6階 蔵地ホール
内容：13:00～国指定重要無形民俗文化財・岩崎鬼剣舞による演舞公演
14:00～ドキュメンタリー映画『究竟(くつきょう)の地 岩崎鬼剣舞の一年』
(2008年、ロングバージョン161分版)上映
17:00～シンポジウム「農民芸術を語る」
映画監督・三宅流×法政大学教授・岡村民夫
主催：法政大学言語・文化センター、法政大学国際文化学部
※入場無料

ご連絡先：〒102-0071
東京都千代田区富士見2-17-1 法政大学 市ヶ谷キャンパス内
「市ヶ谷駅」または「飯田橋駅」 徒歩10分
法政大学言語・文化センター Tel 03-3264-4742

